

# 川崎医療福祉学会誌 執筆規定

(14巻1号より適用)

## 1. 原稿の書式

原稿は横書きで、パソコンのワープロソフトまたはワードプロセッサを使用して、A4判用紙に1,200字程度（35字×34行など）、文字の大きさ10～11ポイント程度で作成したものとする。

## 2. 原稿の枚数

原稿の枚数は、下表のとおりとする（刷り上り原稿はA4判で、1頁は21字×43行の2段組、約1,800字）。

投稿区分	表紙（1頁目）	和文要約（2頁目）	英文要約（3頁目）	本文（刷り上り原稿）
総説	1枚	800字以内	200語以内	10頁以内
論説	1枚	800字以内	200語以内	10頁以内
原著	1枚	800字以内	200語以内	10頁以内
短報	1枚	400字以内*	100語以内	4頁以内
資料	1枚	-	-	4頁以内

\*短報も、和文要約および英文要約をつけることができる。

## 3. 原稿の構成

原稿は、表紙、和文要約、英文要約、本文（注を含む）、文献、図表より構成されるものとする。ただし、必要とされるものが投稿の区分によって一部異なるので、詳しくは本規定2の「原稿枚数」の表を参照するものとする。

### 3.1 表紙

1ページ目は表紙とし、以下の項目を記入する。

(1) 投稿原稿の区分 総説、論説、原著、短報、資料

(2) 表題（和文および英文）

（英文例） Analysis of Visual Information Processing by Event Related Potential (ERP)

(3) ランニングタイトル（和文で30字以内）

(4) Key words（英語で5つ以内）

（例）Key words : mental hospital, Rorschach test, graphical user interface (GUI)

(5) 原稿枚数 総頁数 \_\_\_\_枚

表紙 \_\_\_\_枚

和文要約 \_\_\_\_枚

英文要約 \_\_\_\_枚

本文 \_\_\_\_枚

文献 \_\_\_\_枚

図表 \_\_\_\_枚

(6) 別刷の希望数と表紙必要の有無

30部を越えて希望するとき、追加分を50部単位で申し込む。また、表紙が必要か不要かを記す。

（30部を越えた追加部数は著者負担で、本規定5の別刷料金表を参照）

(7) 著者等の表記（和文）

A. 著者名とその所属機関名

所属が2ヵ所以上の場合、著者名および所属名の各々右肩に番号を割り振ること。

（例）深井喜代子\*<sup>1</sup> 新見明子\*<sup>2</sup> 田中美穂\*<sup>2</sup>

\*<sup>1</sup> 川崎医療福祉大学 医療福祉学部 保健看護学科

\*<sup>2</sup> 川崎医療短期大学 第一看護科

B. 代表者の氏名と連絡先（所属機関等の名称と住所、tel, fax, メールアドレス）

（例）深井喜代子 〒701-0193 倉敷市松島288 川崎医療福祉大学

tel, fax, メールアドレス

(8) 著者名等の表記（英文）

A. 著者名

（例）Kiyoko FUKAI, Akiko NIIMI and Miho TANAKA

- B. 代表者の氏名と連絡先（所属機関等の名称と住所，tel，fax，メールアドレス）  
（例）Kiyoko FUKAI Department of Nursing, Faculty of Medical Welfare  
Kawasaki University of Medical Welfare  
Kurashiki, 701-0193, Japan  
tel, fax, メールアドレス

### 3.1 和文要約

2 ページ目は和文要約とし，本規定 2 の文字数で論文の要約を記載するものとする。

### 3.3 英文要約

3 ページ目は英文要約とし，本規定 2 の文字数で論文の要約を記載するものとする。

### 3.4 本文

本文については，以下の規定に従うものとする。

- (1) 本誌は広く医療福祉分野に関係する読者が対象となるので，できるだけ多くの読者が理解できるように，平易な文章で記述し，論理的で正確，簡潔で明瞭な科学論文とする。
- (2) 略語は広く一般的に使用されているもの以外は使用しないのを原則とする。やむを得ず使用する場合には，最初に出たところで原語を記載し，その後に括弧をつけて略語を記載する。
- (3) 緒言（理論），研究（実験）方法，研究（実験）結果，考察，結論，文献，…等，またはこれに準じる。
- (4) 論文の文中の見出し番号の順は，原則として 1, 2, …, 1.1, 1.2, …, 1.1.1, 1.1.2, …とする。  
さらに小さい見出しが必要な場合は，原則として (1), (2), …, A, B, …, とする。
- (5) 句読点は全角で「.」，「，」とし，括弧やコロンも全角とする。数字や%，=，不等号（<，>）等の記号は半角とする。また cm 等の単位は記号ではなく，英半角文字で打つ。文中の英語等は，略号等の大文字も含め，すべて半角文字にする。
- (6) 注は，最初に出たものから順に，右肩付数字で，…†1)，…†2) のように示す。文章の切れ目につける場合は，カンマ，ピリオドの直前の右肩に記す。そして最後に文献の前に一括して記載する。
- (7) 数式は，できれば日本語「LaTeX」形式で表現する。

### 3.5 文献

文献は，1 つの番号につき，1 論文のみとし，最初に出たものから順番に通し番号の肩付き数字で，…1)，…2,3)，…4,6) のように示す。文章の切れ目につける場合は，カンマ，ピリオドの直前の右肩に記す。そして最後に一括して下記の記載例の形式で記す。文献の雑誌名・書名はイタリック体，巻（Volume）は，ボールド体にする。引用文献の著者名は全員を書く。

<記載例>

<学術雑誌> 著者名：題名，雑誌名 [イタリック体]，巻（号），頁-頁，発行年。

1) 倉敷太郎：岡山県の……。川崎医療福祉学会誌，**1** (1)，222-225, 1991.

2) Elkins BH, Pagnotto LD and Smith HL: Concentration adjustment in urinalysis. *American Industrial Hygienist Association Journal*, **35** (3), 559-565, 1974.

<単行本> 著者名：書名 [イタリック体]。（編著の場合は，題名，編者名，書名 [イタリック体]）  
版，発行所，発行地，頁-頁，発行年。

3) 森忠繁：人口統計。緒方正名編，現代公衆衛生学，初版，朝倉書店，東京，23-24, 1985.

4) Rosenberg J: Effects of medications on biological levels of industrial chemicals. In Fiserova-Bergerova V and Ogata M eds, *Biological monitoring of exposure to industrial chemicals*, ACGIH, Cincinnati, 159-162, 1990.

5) 倉敷太郎：福祉社会の……。初版，川崎出版，東京，31, 1995.

注) 肩付き数字やイタリック体，ボールド体にしがたいときは，普通に打ち出し，原稿に赤色で下線か○印をつけておく。

### 3.6 図表

図表については，以下の規定に従うものとする。

- (1) 図表の原図は，縮小製版できるように鮮明で完全なものとする。図表が鮮明でない等不適當な場合，原稿を受理しないことがある。図表は著者の責任で作成するが，図表の作成を印刷所に依頼したい等，特別の場合は，学会事務局と連絡をとる。
- (2) 図表は，本文とは別に，1 頁に 1 点ずつ記載し，図 1，図 2，……，表 1，表 2，……として，それを挿入する箇所を本文中の欄外（右側）に指定する。

- (3) 図表の表題・図題・説明は、別紙に一括して記載する。  
 (4) 図(グラフ・写真を含む)・表は、そのまま写真製版する。写真はEPS形式等の画像データを提出してもよい。  
 (5) 上記と異なる形式で表の作成を希望する場合は、学会事務局と連絡をとる。

#### 4. 最終原稿の提出

査読が終わり、必要な修正等をした最終原稿は、原本とそのコピー1部を提出する。さらに図を除いたすべての原稿をテキストファイル形式で保存したフロッピーディスク(MS-DOS1.44Mでフォーマットした3.5インチ、使用機種とソフト名を明記)も提出する。テキストファイル形式に変換しがたいときや、フロッピーディスクでの提出が困難なときは、学会事務局と連絡をとる。表については、査読の結果などで最初の投稿原稿時の表に訂正があった場合には、訂正したものを本規定3.6に従って、改めて提出する。また、写真を画像データで入力希望する場合は、そのデータを提出する。

なお、「Tex」による編集作業をスムーズにするために、次のことにご協力をお願いします。

- (1) 引用符や「キーボード上にない特殊文字、記号(ギリシャ文字、Å等)」については、プリントアウトした原稿に赤○をつける。さらに、できればそれぞれをテキストファイル内では“¥”マークで始まる文字列に置き換え、対応表を添える。論文中で統一されていれば、どのような文字列でもよい。

(例)  $a = ¥ a$ , Å = ¥ A

- (2) 文献番号、数式、イタリック体、ボールド体などにも、原稿に赤色で下線か○印をつける。

#### 5. 別刷料金

別刷料金は、下表のとおりとする。

部数	4頁まで	6頁まで	8頁まで	10頁まで	12頁まで	14頁まで	16頁まで
30+ 50部	2,700	2,900	3,100	3,500	3,900	4,300	4,600
30+100部	4,500	4,700	4,900	5,300	5,700	6,100	6,300
30+150部	6,300	6,500	6,700	7,100	7,500	7,900	8,100
30+200部	8,100	8,300	8,500	8,900	9,300	9,700	9,900

\* 別刷30部までは無料(ただし、表紙なし)

各別刷に別途表紙をつけた場合は、上記金額に2,000円加算する。

(平成15年12月12日改正)